

1 題材名 「望ましい人間関係の確立」(2) -オ

2 指導にあたって

生徒たちの今日的な課題として、家庭や地域での異年齢・異世代間の交流の減少による人間関係の希薄さやコミュニケーション能力の不足、他者を思いやる心の弱さなどの問題点が指摘されている。そのため、人との接し方に自信を失ったり、対人関係の持ち方に未熟さが生じるなど、いじめや不登校の要因となる場合もある。従って学校生活の中でも人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやりや正義感、連帯感や協調性を育むことが大切になってくる。

そこで、今の学級の現状を認識し、一人一人が望ましい人間関係とはどのようなものか、またそれを築くためにはどうしたらよいか、それぞれの考えを出し合い、話し合いを深めることで今後の生活が更により良いものとなるよう、この題材を設定した。

生徒の実態調査 (平成〇年〇月〇日実施 第1学年〇組〇名)

1 相手の気持ちを考えた話し方ができる。	1 できる6名 2 どちらかといえばできる16名 3 どちらかといえばできない2名 4 できない0名
2 自分から進んで友達を助けることができる。	1 できる5名 2 どちらかといえばできる6名 3 どちらかといえばできない13名 4 できない0名
3 友達同士のトラブルを自分から注意することができる。	1 できる6名 2 どちらかといえばできる4名 3 どちらかといえばできない14名 4 できない0名
4 友達に対して不快な言葉を言うことがある。	1 ある15名 2 ない9名

本学級では学級のテーマ「元気」の下、学習や部活動に意欲的に取り組んでいる。また、体育祭や文化祭などの学校行事を通して学級全体で行動するときには協力し、目標に向かって取り組むことができる。

実態調査の結果から、相手の気持ちを考えた話し方ができないと考えている生徒は少ない。しかし、半分以上の生徒が自分から進んで友達を助けたり、友達同士のトラブルを自分から注意したりすることが苦手なことがわかった。人間関係の希薄さが原因と思われる。また友達に対して不快な言葉を言うってしまう生徒も多く、他者への思いやりが不足していると考えられる。そして、そのような言葉を言うってしまう原因を生徒に聞くと、些細な言動のすれ違いやお互いの誤解から始まっていることが多く、改善するための友だち同士の働きかけもあまり積極的ではなかった。

これらのことから、課題となっている場面を生徒によるロールプレイで全体に示し、それらの場面で友だち同士がどのように言葉かけをしたり、協力し合うことができるかを4人のグループで話し合い、その後全体で考えをまとめてさせたい。

3 テーマとの関連

一人一人が考えをもち、それを表現する場を設定する。その話し合いの中で望ましい人間関係を確立させるためにクラスとして取り組めることを決定したい。

4 本活動の評価規準

- 班長の言葉や黒板に注目し、他者の発言をしっかりと聞き、また自分の意見を述べようとしている。(関心・意欲・態度)
- 自他の意見を基に学級の改善点をあげ、目標づくりに生かすことができる。(思考・判断)
- 他の意見を聞き、自分の意見をはっきり相手に伝えることができる。(技能・表現)
- 話し合いを通して、望ましい人間関係を確立させるための方法を理解している。(知識・理解)

5 事前の指導と評価の視点

月 日	時 間	活動の主体	内 容
○/○	帰りの会	学級全員	アンケート調査をする。
○/○	放課後	各班长・評議員	アンケート集計、資料化、話し合い計画
○/○	放課後	代表者	ロールプレイの練習
○/○	学級活動	学級全員	「こんなときどうする？」(本時)

<評価の視点>

- ・望ましい人間関係について真剣に考え、アンケートに記入できる。(関心・意欲・態度)
- ・話し合い活動の目的・内容・方法を理解し、具体的な準備ができる。(技能・表現)

6 本時の活動

(1) 目標

話し合い活動を通して、望ましい人間関係を確立させるために現時点で自分たちができることは何かを考え、今後の学級での生活を積極的に向上させようとする自主的な態度を身に付けることができる。

(2) 準備・資料

アンケート結果(掲示用資料)、ワークシート、掲示用カード

(3) 展 開 ※ 本時における話し合い活動(下線部)

学 習 内 容 及 び 活 動	学習形態	指導と評価 (Eは評価)
1 本時の学習課題と活動の流れについて確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「こんなときどうする？」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を発表する。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを知り、見通しをもって話し合いに参加できるようにする。 ・結果について気づいたことを発表させ、課題意識をもたせる。 ・関心をもって話を聞き、進んで参加しようとしている。
2 話し合いの仕方を説明する。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・司会の言葉で話し合いが進行することを確認させる。
3 代表生徒によるロールプレイを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を言えない生徒について ・自分勝手な行動をとる生徒について 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・演じる生徒に全員が注目するように促す。

<p>4 次の点についてグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が問題か。 ・このままだとどうなるか。 ・どうしたらよいか。 <p><予想される生徒の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことしか考えない ・相手にされなくなる ・自分から進んで話すべき ・相手のことを考えるべき 	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を交流させることで、様々な改善点に気付かせる。 ・カードに書いた意見を並べ、できるだけ類型化させる。 ・意欲的に話し合えるように、問題点、解決方法について考えるように助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・司会を中心に、スムーズに話し合いを進められるように発表の仕方と聞く態度について助言する。 ・望ましい人間関係について真剣に考えられるよう助言する。
<p>5 グループで出た意見を全体に発表する。</p>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者は自分の考えをはっきり述べる、それ以外の者は発表を真剣に聞くように助言する。 <p>E 他のグループの発表を真剣に聞いている。(発表・ワークシート：関・意・態)</p> <p>E 自分の考えをはっきりと表現し、発表している。(発表・ワークシート：技能・表現)</p>
<p>6 5で発表された意見をもとに学級全体で取り組めることを話し合い、決定する。</p>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係を築くために全体で取り組めることは何かを検討させ、決定させる。
<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動について確認する。 ・教師の話聞く。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動、教師の話聞くことにより、これからの活動に見通しをもち、意欲的に活動できるようにする。

7 事後の指導と評価の視点

月 日	時 間	活動の主体	内 容
○/○	帰りの会	計画委員	集団決定した内容の掲示・確認
○/○	学級活動	学級全員	集団決定した内容を実践しているかどうかの確認

<評価の視点>

- ・集団決定した目標を実践し、生活を向上させることができる。(関心・意欲・態度)
- ・他の生徒の取り組みに対し、正しく評価し、認め合うことができる。(思考・判断)